

石神井会

12月定例会報告

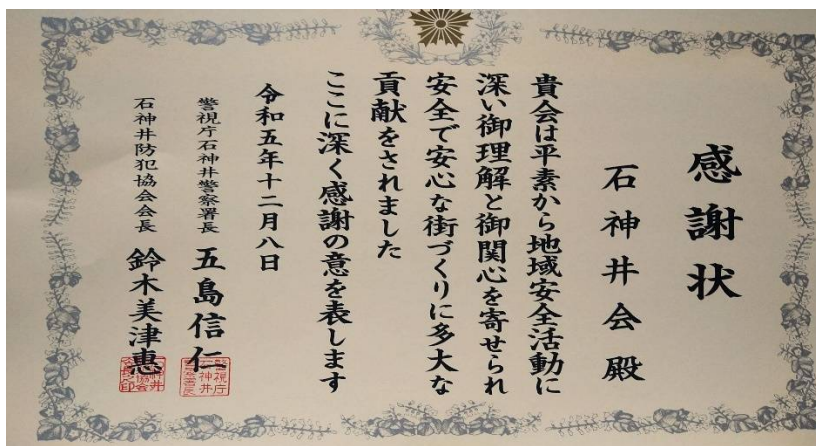
12月にも拘らず夏日があったり、かと思うと寒い日があったりと気温変化の激しいこの頃ですが、皆様お変わりはないでしょうか。体調を崩さない様ご留意ください。

<総務部>

上石神井小学校は2024年度に開校70周年を迎えます。同校では記念行事開催を検討しており、当町会に記念行事実行委員会を出すよう求められましたので2名の方を同校に報告しました。記念行事は2024年11月30日に開催の予定であり、実行委員のお二人には種々企画の準備や当日の実行役をお願いすることになります。

<安全部>

当町会は石神井警察署、石神井防犯協会から地域の安全活動に貢献したとして感謝状を頂きました。これは当町会内での犯罪発生が今年度ゼロ件（振り込め詐欺ゼロ件、自転車窃盗ゼロ件等々）と安全なまちづくりが出来ている事によるものです。安全部としても引き続き防犯活動を強化していくものですが、会員皆さまの普段の防犯意識が一番肝要です。安全部と一緒に犯罪ゼロのまちづくりを進めましょう。なお、総務担当の徳下さんにも同様に感謝状が授与されました。



<福祉部>

12月1日から令和5年度歳末たすけあい運動が始まっています。当町会はこの社会福祉運動の趣旨に賛同し毎年協力しています。今年度も町会会計から2万円を募金として練馬区社会福祉協議会に納めました。

<環境部・外環担当>

青梅街道インターチェンジについての報告です。

- (1) 11月1日の東京地裁での公判は原告・国双方がパワーポイントを使って主張するというあまり例のない法廷でした。原告がインターチェンジの違法性（人格権、環境権、財産権の侵害、環境影響評価法違反）を明らかにしたのに対し、国からは反論はほとんどなく、すべて裁量権の範囲であるとの答弁に終始しました。裁判は9年に亘っており、裁判所は結審の時期を探り始めていると思われます。
- (2) 12月3日に元関町一丁目町会主催の住民集会が開催され、玉川大学の小山雄一郎教授の講話「外環道と住民参加」があり、外環道事業の妥当性に対する疑問〈従来型の需要追随型道路政策の疑問、事実上の費用便益比1.0以下での事業継続は妥当か？〉が話されました。
- (3) シールドマシンは現在石神井台1丁目/3丁目地下を掘削中、来年秋ごろには千川通り辺りに到達する見込みであり、青梅街道インターチェンジ地域では年明け1月頃に家屋調査説明会が行われる予定です。
- (4) 青梅街道インターチェンジ地域に広がる更地＝空地は環境、景観の面で地域住民にとって好ましいものではないので、中長期的な活用実現のため町会・国交省・区の3者協議が予定されています。

<振興部>

コロナ以前は当町会ではこの時期、もちつき大会を開催し好評を得ていましたがコロナ対策の観点から開催を見送っていました。本年度も開催見送りになりましたが、今般育成上石神井地区委員会主催の餅つき大会の案内がありましたのでお知らせします。

日時 1月7日（日）10時開始 なくなり次第終了

場所 上石神井小学校

※ついたお餅はその場で食べることはできませんが、参加者はつきたてのお餅を持ち帰ることが出来るそうです。

<防災会>

(1) 上石神井小学校避難拠点訓練について

12月9日(土)上石神井小学校の土曜登校日に合わせて、6年生の授業の一環として避難拠点訓練を実施しました。AEDの使用方法、簡易トイレの組み立て、アルファ米炊き出しなどを実地経験してもらいました。石神井会からは防災会メンバー5名が参加しました。

(2) 防災ベストの納品について

11月にご説明した防災ベストが11月22日に以下の内容で納品されました。保管場所と共にお知らせします。

- ①石神井会用 60着 (取り敢えず防災倉庫に保管)
- ②上石神井小学校避難拠点用 20着 (上小の防災倉庫に保管)

以上

石神井会のホームページをご覧ください。
色々な情報を載せています。スマホでも見られます。
＝石神井会で検索してみましよう＝